【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公表番号】特表2003-513929(P2003-513929A)
【公表日】平成15年4月15日(2003.4.15)
【出願番号】特願2001-536163(P2001-536163)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　47/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 5/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 7/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　11/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/22　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/28　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/27　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　 5/10　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　47/06
Ａ６１Ｋ　 9/00
Ａ６１Ｐ　 3/10
Ａ６１Ｐ　 5/02
Ａ６１Ｐ　 7/04
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　21/04
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ｃ１２Ｎ　11/04
Ａ６１Ｋ　37/24
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｋ　37/26
Ａ６１Ｋ　37/36
Ｃ１２Ｎ　 5/00　　Ｂ
Ｃ１２Ｎ　15/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　少なくとも１つの予め定められた生理活性化合物の生体内生成のためのインプラントであって、前記インプラントは、細胞外基質を生成し維持する軟骨細胞および少なくとも１つの予め定められた化合物を生成する細胞を含み、細胞の少なくともいくつかは細胞外基質内に配置される、インプラント。
【請求項２】　軟骨細胞は、インプラントが内植されるべき人間または動物に由来する自己の軟骨細胞を含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項３】　軟骨細胞は、ドナーに由来する異種または同種の軟骨細胞を含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項４】　細胞は遺伝子操作された細胞を含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項５】　遺伝子操作された細胞は軟骨細胞を含む、請求項４に記載のインプラント。
【請求項６】　化合物は、炎症の阻害剤、ホルモン、成長因子、凝固因子、神経伝達物質、神経栄養因子および血管形成の活性化剤または阻害剤からなる群から選択される、請求項１に記載のインプラント。
【請求項７】　粒子をさらに含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項８】　粒子は人工粒子を含む、請求項７に記載のインプラント。
【請求項９】　細胞は遺伝子操作された細胞を含む、請求項２に記載のインプラント。
【請求項１０】　遺伝子操作された細胞は軟骨細胞を含む、請求項９に記載のインプラント。
【請求項１１】　細胞は遺伝子操作された細胞を含む、請求項３に記載のインプラント。
【請求項１２】　遺伝子操作された細胞は軟骨細胞を含む、請求項１１に記載のインプラント。
【請求項１３】　細胞外基質は、ＩＩ型コラーゲンおよびプロテオグリカンを含む、請求項１に記載のインプラント。
【請求項１４】　軟骨細胞は軟骨組織に由来する、請求項１に記載のインプラント。
【請求項１５】　軟骨細胞は、幹細胞または前軟骨細胞のin vitro分化によって調製される、請求項１に記載のインプラント。
【請求項１６】　細胞外基質内に配置された細胞の少なくともいくつかは、細胞外基質内で固定される、請求項１に記載のインプラント。
【請求項１７】　化合物は、インスリン、副甲状腺ホルモンおよびソマトトロピンからなる群から選択されるホルモンである、請求項６に記載のインプラント。
【請求項１８】　ホルモンはインスリンである、請求項１７に記載のインプラント。
【請求項１９】　化合物は成長因子である、請求項６に記載のインプラント。
【請求項２０】　成長因子は骨形態形成蛋白質である、請求項１９に記載のインプラント。